



野菜市況情報はコチラ



JA 吉岐市 公式 LINE



JA吉岐市公式YouTube
チャンネルはコチラ



10 Fureai ふれあい JA吉岐市

No.718
2025.OCT



表紙説明は P5



JA壱岐市いちご部会通常総会開催(9月9日) 品質向上へ結束強化図る



受賞者の皆さん

令和6年産は、生産者27名、作付面積272.0㌥で栽培。反当収量1万4,354パック(250㌥)、販売金額470万1,000円、総販売金額1億2,785万8,000円。

総会では、6年産の状況を踏まえた6年度の活動報告と、7年度の事業計画など、全ての議案が原案通り可決されました。また、優良生産者の表彰も行われ、10㌥当たり販売金額最優秀賞(組合長賞)を、郷ノ浦町の市山隆之さんが選ばれました(2万6,158パック/10㌥)。

あわせて、全農ながさきの柴田望さんより6年産の振り返りと次年度に向けた取り組みについての説明があり、課題と対応策を参加者全員で共有しました。

7年産に向けては、さらなる品質向上と収量拡大を目指し、強い産地づくりに取り組みます。品種を問わず研修や交流の機会を設け、部会員の結束と組織力の強化を進めてまいります。

JA壱岐市組合長表彰

10㌥当り販売金額	👑1位	市山 隆之 様
	👑2位	山川 大助・桂子 様
	👑3位	大久保 和真 様
総販売金額最優秀賞	市山 隆之 様	
支部共励賞	石田支部	

壱岐市長表彰(躍進賞)	山川 大助・桂子 様
	市山 清治・久代 様
部会長表彰(功労賞)	平田 一行・富子 様
	松本 寿子 様
	山川 嵩裕・道子 様



市長(中央右)、振興局長(中央左)へ贈呈



つや姫を乗せたトラックの前でテープカット



県知事へ贈呈

令和7年産「つや姫」初出荷 長崎県知事、壱岐市長、壱岐振興局長へ贈呈(8月28日)



つや姫生産部会
川上治部会長

干ばつや風雨を乗り越え、品質良好な『つや姫』が無事収穫できたことを嬉しく思います

つや姫生産部会は、7年産「つや姫」の初出荷を祝う出発式を生産者、関係機関等約60名出席のもと開催しました。

8月中旬からは共同乾燥調製施設にて、7年産早期米の受け入れが開始され、8月下旬にかけて収穫の最盛期を迎えました。650㌥程度の収穫を見込んでおり、販売単価16,000円/30㌥、全量1等を目指しています。

式典後には、「アグリプラザ四季菜館」にて新米「つや姫」の販売も開始されました。

また、同日には川崎裕司組合長をはじめ、JA全農ながさきと各JAの代表者が長崎県庁を訪れ、大石賢吾知事に新米を贈呈しました。



出発式で配布されたおにぎり



つや姫出発!!



四季菜館で新米つや姫
初売り開始と新米フェア開催

JA 壱岐市女性部 活動実績発表会開催 (9月10日) 久保さんの思い込めた発表にエール

発表したのは、那賀地区女性部の久保百合子さん。
那賀地区女性部は、地域や青年部と連携し、「那賀ダッシュ村」などの食育活動や小学校の裁縫授業支援を行っています。地域のつながりを大切に、今後も活動を継続していくと発表がありました。

赤岩部長は「久保さんの思いが伝わる良い発表でした。部員一同応援しています」とエールを贈りました。

11月18日の長崎県家の光大会で壱岐代表として、更に大きな舞台で発表されます。応援よろしくお願い致します。

発表会終了後には、手芸サークルによるアームカバー制作講座が開かれ、女性部員27人が参加。講師は、同JA女性部理事で手芸サークル代表の山口京子さんと、女性部監事の山口悦子さんの2人が務めました。



応援に駆けつけた那賀地区部員の皆さん



発表披露する久保さん



令和7年度 JA 壱岐市青年部 1分間CM動画コンテストを実施!!

JA 壱岐市青年部では、毎年各支部で1分間CM動画を作成しています。

今年は3支部（柳田・勝本・田河）が作成しました。

作成された作品をJA 壱岐市公式YouTubeチャンネルで公開します♪

さらに!! **皆さんの投票で今年のNo.1作品が決定します!**

※投票は下記のGoogleアンケートフォームからお願いします。

各作品は下記のバーコードをスキャンすることで視聴できます。



公開期間 令和7年9月17日(水)

投票期間 令和7年9月17日(水)～令和7年10月24日(金)まで

各支部の作品紹介

柳田支部

作品名
『地域と共に創る未来』



◀動画はコチラ

勝本支部

作品名
『おいしい笑顔』



◀動画はコチラ

田河支部

作品名
『「農」を未来へ伝えよう』



◀動画はコチラ

★たくさんのご視聴・ご投票をお願いします★

投票方法はコチラ

Google アンケート
フォームはコチラ▶



コンテストの投票は Google アンケートフォームからお願いします。

①左のバーコードをスキャン

②アンケートより支部を選択

③送信ボタンを押すと投票が完了となります

品 ミニトマト出荷目揃会(8月27日) 品質確認 高値市場に期待

本年産は生産者 14 名、作付面積 63.5㍍で栽培しています。品種は「エコスイート」で、反当出荷量 3㍏、販売金額 225 万円、キロ単価 750 円を目標に取り組んでいます。

8 月 10 日の大雨(降水量 231.5㍉)では一部のハウスが冠水し、根に損傷が発生しました。その後、速やかに排水処理と殺菌剤の散布を実施しましたが、現在も一部で萎れの症状が見られます。

市場情勢は、本年は高温や天候不順の影響でミニトマトを含む果菜類の出荷量が減少し、市場では品薄と高値が続いています。特に梅雨明け後の高温で着果が不安定となり、小玉傾向が進みました。熊本県の促成産地も大雨で定植が遅れており、供給不足は 11 月上旬まで続く見込みです。



目揃えを行う部会員ら

風 献穀田で抜穂祭(8月23日) 雨に見舞われながらも、満足の出来

県神社庁壱岐支部(馬場忠裕支部長)は、勝本町の楠本秀さんの斎田で、刈り取りの神事「第 36 回献穀田抜穂祭」を行いました。

4 月 19 日のお田植祭で早乙女らにより植え付けられたコシヒカリの早苗は、極暑と雨不足、今月 9 日から 12 日にかけて雨量 465㍉、最大瞬間風速 15.3㍎の風雨に遭いながらも、奉耕者の楠本さんが丹精込めて育て上げ、無事に収穫の日を迎えました。

抜穂祭は市内神社の神主 12 名が斎田清祓の儀を行い、壱岐神楽(国指定重要無形民俗文化財)の「豊年舞」を奉奏。菅笠、茜たすきに身を包んだ地元の鯨伏小児童らによる刈男、刈女が穂を刈り、稲穂の献納を行いました。

楠本さんは「風雨で少し倒れたが、順調に生育したことを嬉しく思う。満足できる出来となり安心した」と語りました。

収穫された米は伊勢神宮、明治神宮、靖国神社、長崎市内の(諏訪神社、護国神社、県神社庁)3 社、壱岐市内の 42 社に奉納されました。



刈男、刈女を務めた児童が刈り入れ

秋 令和7年産 春ばれいしょ 実績検討会・秋ばれいしょ 栽培講習会(8月6日) 作は作付面積拡大へ

春作は、生産者 22 人が面積約 739㍍で栽培、販売量 117㍏、出荷率 72.5%、平均反収 2,184.8㍉(前年比 94%)。

定植はほとんどの圃場で適期に行われ、ドローンによる適期防除により病害虫の被害は見られず、生育は良好でした。しかし、梅雨時期に入り収穫が遅れ気味となったことに加え、7 月収穫分では腐敗や出芽が確認され、これが収量低下の要因となりました。

秋作は 20 人が 693㍍(前回比 121%)で栽培を予定しており、作付面積が拡大しています。

販売状況や取り組みについては、(株)日本アクセスの櫻谷龍太さんより、栽培管理についてはカルビーポテト(株)の茶谷正孝さんより説明があり、知識を深めました。



栽培管理について説明するカルビーポテト(株)茶谷さん

書 道コンクールに1,296点 児童生徒の力作ずらり

JA 壱岐市には、今年も島内各小・中学校から書道コンクール作品が多数集まりました。

コンクールは県下 JA と全共連長崎県本部が主催し、共済事業の一環として相互扶助・思いやりの精神を、次代をになう小中学生にも伝えていくとともに、児童・生徒の書写教育に貢献することを目的として小中学生を対象に開催されています。

今年は、島内小・中学校から参加者数 1,171 名、応募数 1,296 点(半紙の部 1,167 点、条幅の部 129 点)。9 月 10 日に本所大会議室(郷ノ浦町)で行われた審査会で、審査員を招き、各学年の作品より県出品作品の上位 3 作品を選出しました。

同 JA 金融共済部共済課の竹下真一郎課長は「どの作品も大人顔負けの力作揃いで子供たちのパワーを感じる。作品応募をきっかけに JA に関心を持ってもらおうと嬉しい」と語りました。

各コンクールの入選作品は、11 月に開催する「第 39 回農協まつり」で展示致します。



会場いっぱい集まった力作揃いに審査も難航

《表紙紹介》

我が家のあいどるたち



たけふじ 竹藤 中央ちゃん(10)
み 湊 央くん(8) 郷ノ浦町
そ 蒼 斗くん(0)

お父さん：雅則さん お母さん：沙希さん

湊中央ちゃんは、ピアノ・習字・陸上を頑張っています。末っ子蒼斗くんの子守りをよくしてくれて助かっています。

湊央くんは、野球・陸上・習字を頑張っています。運動が大好きです。

蒼斗くんは、何でもモリモリ食べてくれます。お姉ちゃん・お兄ちゃんが大好きです。

「人に優しく思いやりのある人になってほしい」とご両親。



友だちのわ



長田 大河さん
からバトンタッチ

一緒にタイエット
しませんか？



はしもと 橋本 つかささん (23)
芦辺町

壱岐島に 嫁ぎました



Q. 壱岐に来る前の壱岐のイメージ

A. 友だちの紹介で初めて知った島だったので正直イメージはなかったです。笑

Q. 壱岐に来て驚いた事

A. 畑がたくさんあり、お刺身が美味しいこと。

Q. これからの夢

A. 旦那と子どもたちと幸せに暮らしていきたいです。沖縄の友だちにも壱岐のことを教えていきたいです。



いけがみ ゆきえ
池上 由希恵さん (35) 芦辺町

出身地：沖縄県
壱岐に定住した年：令和3年

水稻

【適期収穫の実施】

10月上旬～中旬にかけて、にこまるの成熟期を迎えます。出穂後、45日頃が目安の時期となります。収穫適期は黄化籾割合で85～90%（不稔籾は除く）となった時期です。

早い収穫⇒充実不足による品質低下や収量減につながります

遅い収穫⇒胴割れ粒や茶米、発芽米等による品質低下や、収穫ロスによる収量低下につながります

※秋ウンカによる坪枯れが発生した際には、収穫可能な時期に達している場合速やかに収穫を実施して下さい。

【適正乾燥の実施】

過乾燥は、胴割れ粒の原因となりますので十分注意して下さい。

掛け干しは天候・圃場により乾燥程度が異なりますので、圃場ごとに水分測定を実施し、14～16%前後で脱穀作業を実施して下さい。

【早期落水の防止徹底】

あぜざわを中心に、枯れ熟れが目立っています。早い落水は収量・品質低下につながりますので、収穫7日前を目途に実施しましょう。（担当：農産園芸課 下條）

秋カボチャ

10月上旬から10月下旬にかけて果実肥大期に入ります。玉肥大と品質向上に向けた管理作業を行いましょう。

○管理作業のポイント

【追肥】

品種名	追肥の時期	追肥資材	施用量
くり将軍	開花前～	BB追肥名人	30kg/10a
プリメラ			
えびす	開花（着果）後～		

【灌水】

着果後約25日で重量の約90%に達します。この時期に乾燥状態が続くと玉肥大に影響を及ぼすので、灌水に努めましょう。

【草勢管理】

くり将軍は蔓の太さを人差し指よりやや太い程度、着果節付近の葉の大きさは35cm程度が理想です。（プリメラは30cm程度）

蔓先にかけて葉が段々と小さくなっている場合や蔓が細くなっている場合は葉面散布等で草勢の回復を図りましょう。

【病虫害防除】

開花期以降、晴天が続く、着果負担が加わってうどん粉病が発生しやすい状況です。被害が拡大する前に治療効果のある薬剤で防除しましょう。

薬剤名 ジーファイン水和剤 1,000倍
トリフミン水和剤 3,000～5,000倍 等

【適期収穫】

貯蔵出荷の場合	交配日	収穫日
	9/10 交配	10月下旬頃
	9/20 交配	11月上旬頃

※交配日を必ず確認しましょう。

☆貯蔵出荷の必須事項

収穫7日前～直前に腐敗防止のため、アリエッティ水和剤（400～800倍）を散布して下さい。

（担当：農産園芸課 長岡）

大麦

【集荷指定品種】

はるか二条

★品種特性表

品 種	出穂期	成熟期	稈 長	穂 長
はるか二条	3.16	5.6	86cm	6.8cm

【排水対策について】

排水対策が重要となりますので、水田での作付では特に弾丸暗渠や圃場周辺の明渠設置により排水を向上させるよう心掛けて下さい。

【施肥基準】

土壌改良材：粒状苦土石灰	60kg～100kg/10a
基 肥：BB 沓岐 284	40kg/10a
追 肥：BBNK 2号	1回目、2回目ともに20kg/10a

【播種適期及び播種量】

播種適期：11/10～25

基準播種量：条播（畦間30cm）⇒8kg、散播⇒12kg

※止むを得ず遅播きする場合は、茎数確保のため播種量を10～20%増量して下さい。（担当：農産園芸課 下條）

大豆

10月後半～11月初旬にかけて成熟期を迎えます。カメムシ等の吸汁被害を受けた株は青立ちの発生につながります。黄変・落葉が始まる前に圃場を確認し、カメムシの発生が見られる場合は早急に防除を実施して下さい。

コンバイン収穫を委託希望の場合は、必ず『青立ち株』及び『雑草』の抜き取り作業を事前に実施して下さい。

（担当：農産園芸課 下條）

にんにく

9月下旬～10月中旬までが植付時期となっています。

植付から初期管理作業を遅れないように実施し、越冬前の樹作りに努めましょう。

【元肥施肥基準（10a当たり）】

資材名	施用量
堆肥	3,000kg
粒状苦土石灰	100kg
苦土重焼りん	20kg
BB48	100kg

【種子消毒】

黒腐・菌核病対策として、植付前にベンレートT水和剤20を種子粉衣（湿粉衣・種子重量の1%）し、乾燥させましょう。

【植付作業】

条間40～60cm、株間8cm、約20,000～30,000株/10a
リン片の発芽部を上にして、植付深さが3cm程度になるよう植付しましょう。

【除草剤】

薬 剤 名	10a基準量	使用時期	使用回数
トレファノサイド乳剤	300ml	植付後（但し、収穫90日前まで）	2回以内
トレファノサイド粒剤25	5kg		

【管理作業】

1株から2芽以上出た場合は、生育の良い方を残して付根から摘み取して下さい。

【中耕・追肥】

萌芽後（11月上旬）除草を兼ねて1回目の中耕を浅く実施しましょう。2回目は12月上旬頃に追肥と併せて実施します。（担当：農産園芸課 村井）

ブロッコリー

10月上旬から中旬にかけて5型の定植時期となります。

例年10月は降水量が少ない傾向にありますので、定植後に灌水し、活着促進と生育遅延がないように管理しましょう。

【追肥】

作型	1～2型	3～6型
1回目	定植後15～20日頃 NK2号 (20kg/10a)	定植後15～20日頃 BB239号 (20kg/10a)
2回目	出蕾期 NK2号 (20kg/10a)	定植後40日頃 BB239号 (20kg/10a)
3回目		出蕾期 BB239号 (20kg/10a)

【中耕・土寄せ】

除草・倒伏防止を兼ねて、1回目及び2回目の追肥の際に実施しましょう。

【共通】

水田裏作での取組み圃場は、湿害対策として排水路の整備を必ず実施しましょう。

(担当：農産園芸課 村井)

スナップエンドウ・秋いんげん

《年内採りスナップエンドウ・いんげん》

草勢維持のため、開花後から適宜に葉面散布及び追肥を実施する。

葉面散布 メリット青 500倍

追肥 BB追肥名人 20kg/10a

収穫遅れは草勢低下が著しく、減収になりますので、採り遅れがないよう若莢での収穫に心掛けましょう。

(担当：農産園芸課 長岡)



菜の花

9月上旬から10月上旬までが播種時期となっています。

作業遅れがないようにし、品質向上・出荷数量の向上に努めましょう。

◎栽培ステージ ○ー○ 播種 □□□ 収穫

	9月			10月			11月			12月			1月			2月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
早生	○	○								□	□	□	□	□	□	□	□	□
晩生				○	○											□	□	□

施肥・播種

- 圃場の選定 日当たりが良く、排水の良いところ。
(排水対策は十分に)

※施肥量 (10a 当り)

BB284 40～60kg BMよりりん 40kg 苦土石灰 100kg

【注意】施肥については、圃場の地力により加減する。

窒素肥料が多すぎると、茎が太くなり品質が低下します。

- 作式 うね幅 80cm～100cm×通路 50cm
- 播種 [1a 当り] 1dl～2dl (1dl: 約 20,000 粒)
ばら播きで、軽く覆土する。
- ‘伏見ちりめん 88 号’は茎が太くなりやすい為、やや厚めに播種する。

間引き

- 特に混み合っている場所は、本葉2～3枚の頃に間引きする。

追肥

- 生育 (草丈 20cm 頃) を見ながら追肥する。
[NK 化成 C 2号: 20kg 前後 /10a]

病害虫防除

*コナガ・ヨトウムシ・アブラムシ

アディオン乳剤 2,000 倍 6 回以内

オルトラン水和剤 1,000 倍 5 回以内

パダン SG 水溶液 1,500 倍 3 回以内

ノーマルト乳剤 2,000 倍 1 回以内

*黒腐病・軟腐病

カスミンボルドー 1,000 倍 3 回以内

*白さび病

アミスター20フロアブル 2,000 倍 2 回以内

収穫

- 頂花の蕾が色づき開花直前になった時に収穫する。

(担当：農産園芸課 山口)

この面に記載の事項についてのお問合せは
営農センター (0920-45-3805) までお願いします。



JAバンクを装った不審な電子メール にかかる注意喚起について

今般、複数県域において、JA バンクを装った不審な電子メール（フィッシングメール）が送付され、個人情報等を不正に取得される事案が確認されております。

当該メールは、「**【重要】お客様の資産保護のための本人確認のお願い**」と偽り、利用制限がかかる等の不安を煽りフィッシングサイトへと誘導し、ログイン ID・パスワード等を不正に取得する手口となっております。

このようなメールをご確認されましたら、メールの指示に従わず速やかに削除いただきますようお願い申し上げます。



JA とは？



国際協同組合年

国際協同組合はよりよい世界を築きます

JA（ジェイエイ）は日本の農業協同組合の愛称で、シンボルマークは緑の「J」と「A」を組み合わせ、大地と人の絆を表しています。

JA は約 70 年前に「農家による農家のための組織」として誕生しました。

当時は食糧不足や農村の貧しさが深刻で、農産物の生産や生活改善、健康づくりに取り組んでいました。

農業と暮らしをみんなで支える姿勢は、今も変わりません。

トピックス

今回は、鯨伏の農産加工部会・湯ノ本農産加工組合が手がける「焼肉のたれ」の製造現場を見学させていただきました。地元・沓岐産の玉ねぎやニンニク、生姜、味噌、果物などをたっぷり使った無添加のたれで、素材の旨味を活かし、保存料

を一切使用していない安心・安全な商品です。
自然な風味が肉の美味しさを引き立てると、飲食店やリピーターからも大好評！
とっても美味しいですよ～ ぜひ一度食べてみてください！

お問い合わせ・お買い求めは、四季菜館まで♪
(末永 康貴)

